



# 業界レポート

## 漆器製造業

株式会社CCイノベーション

令和6年4月

# 目次 -CONTENTS-

01. レポートサマリー
02. 基礎知識
03. 業界の動向
04. 今後の焦点
05. CCIのソリューション

## 基礎知識

- 漆器製造業とは生地（材料）のいかんを問わず、漆器を製造する事業所をいいます。
- 主な製品は、漆塗りの家具、じゅう器、食器、箱、美術品などです。

## 業界の動向

- 2021年の製造品出荷額は12,874百万円で、最盛期の1/5以下ともいわれます
- マーケットの変化に対応できないことによる市場の縮小は伝統産業業界全体の課題と言えます。

## 今後の焦点

- 漆器製造業が抱える課題としては多工程にわたり分業しており、サプライチェーンが複雑化していることが挙げられます。
- サプライチェーン全体の変革が必要であり、さらに地方創生につなげることが肝要です。

### 漆器の特徴

#### 漆器とは？

木や紙などに漆(うるし)を塗り重ねた、東洋独特の工芸品であり、複雑な工程を経て生産されます。高級な美術品から、日常使用する実用品まで幅広い製品があります。

#### 色や質感の 変化を楽しむ

使い続けていくと色が深くなり、磨き抜かれた質感になっていきます。

#### 軽くて丈夫

木でできているので料理を入れても軽く、また割れにくいです。

#### 断熱性の高さ

熱伝導率が低いので、温かい料理は温かいまま、そして器が熱くなりすぎず手で持てます。

#### 抗菌・抗ウイルス

普段使いのお弁当箱やベビー食器に漆器を使うのも安心です。

#### 肌なじみや 口当たりの良さ

自然素材で作られた漆器は温かみがあります。

- 日本産業分類では、漆塗りでないものは『家具製造業』『はし製造業』等に該当します。
- うるし振興研究会により、抗菌・抗ウイルス効果の検証がなされSARS-CoV-2（新型コロナウイルスの1種）などに抗ウイルス作用が認められました(2022年)。
- 海外で「ジャパニング」と呼ぶものは漆以外の溶剤を使用して漆器の特徴を模倣した欧州独自の技法です。

## 2. 基礎知識

### 四大漆器

#### 輪島塗 (石川県輪島市) / 山中塗 (石川県加賀市)

輪島塗：堅牢な塗りの丈夫さと芸術的な加飾  
 山中塗：木目を生かした自然な風合い

#### 会津塗 (福島県会津若松市)

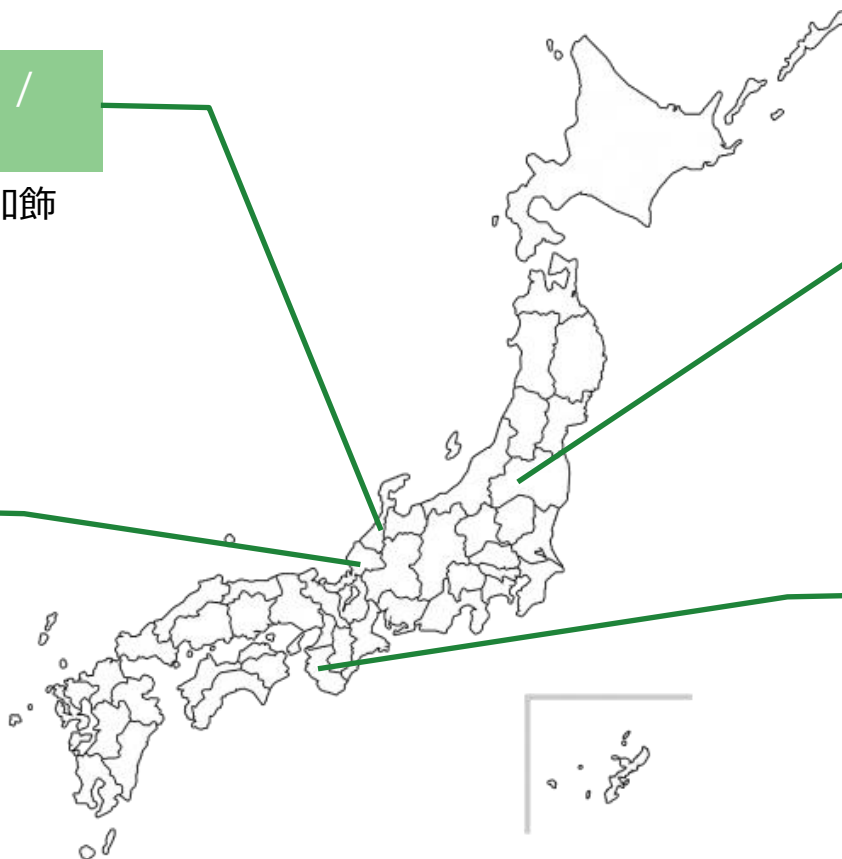
多彩な加飾、現代的デザインも多い

#### 越前漆器 (福井県越前市)

はけの跡が残らぬよう仕上げる「花塗り」という特徴的技法

#### 紀州漆器 (和歌山県海南市)

赤と黒の趣ある外見、長く日常使いできる



- 石川県には27、福井県には31の事業所が存在し、2県で全国142事業所の実に40パーセントに達します。(総務省統計局：『令和3年経済センサス-活動調査』より)
- 令和6年能登半島地震により輪島塗事業者は甚大な被害を受けました。

### 木製漆器の製造工程

**木取り:** 山から切り出した原木を適切な大きさにカットします。椀などの丸物はロクロで回しながら削り出し、角物（箱や盆など）は板の状態です。約1年乾燥させた天然木や漆器用合板を裁断し、削り込み、組み立てます。



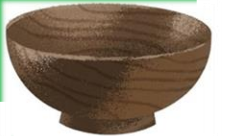
**荒挽き:** 轆轤で木地を回転させ、カンナを使っておおよその形に削り出します。木地が乾燥しやすくなります。



**燻煙乾燥:** おおよその形に削り出した木地を1ヶ月かけて煙で燻しながら乾燥させます。これにより木材の狂いや歪みを軽減し、木質を強化します。

**仕上げ挽き:** 再び轆轤で回転させ、カンナを使って形を整えます。刃物は全て木地師が作成します。

**木固め:** 木地に生漆を塗り、染み込ませて丈夫な下地を作ります。



**錆付け:** 生漆と砥の粉を混ぜた錆漆を刷毛やヘラで塗ります。木材を強化し、防腐や防虫の効果もあります。

**錆砥ぎ:** 錆付けをした器物を轆轤を使って砥いで表面を滑らかに整えます。

**中塗り:** 下地を施した器物に漆を刷毛で塗ります。内外を分けて塗り、乾燥させてからもう片側を塗ります。

**傷見:** 細かい穴や凹み部分にヘラを使い錆漆を埋め、綺麗に整えます。

**中砥ぎ:** 塗った漆と傷見した錆漆を砥いで平らに滑らかに仕上げます。

**小中塗り:** 中砥ぎした器物にもう一度、刷毛で漆を塗ります。



**小中砥ぎ:** 仕上げ塗り前の最後の研磨で、表面を滑らかに整えます。

**上塗り:** 漆器製造の最終工程で、多くの工程を重ねた器物に漆を刷毛で塗り上げます。川連漆器は花塗りという技法で仕上げられ、高度な技術が必要です。

**加飾:** 上塗りをした後、加飾を施します。加飾の代表的なものに、金粉を撒く蒔絵（まきえ）、貝殻の真珠層を埋め込む螺鈿（らでん）などがあります。



- 実際にはさらに細かな工程があり、様々な職人による分業体制で生産されています。
- 産地により工程は異なり、30～100以上の工程があると言われています。

### 経済産業大臣指定伝統的工芸品



#### 伝統的工芸品とは？

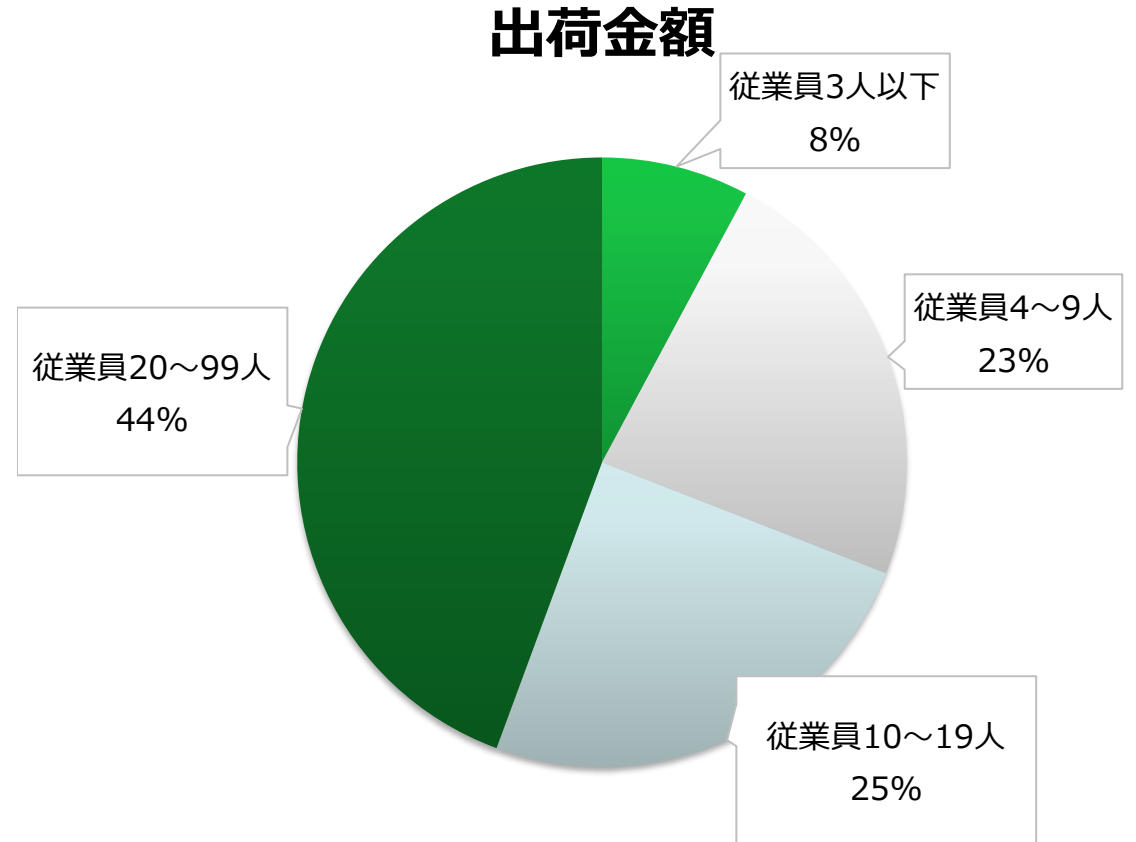
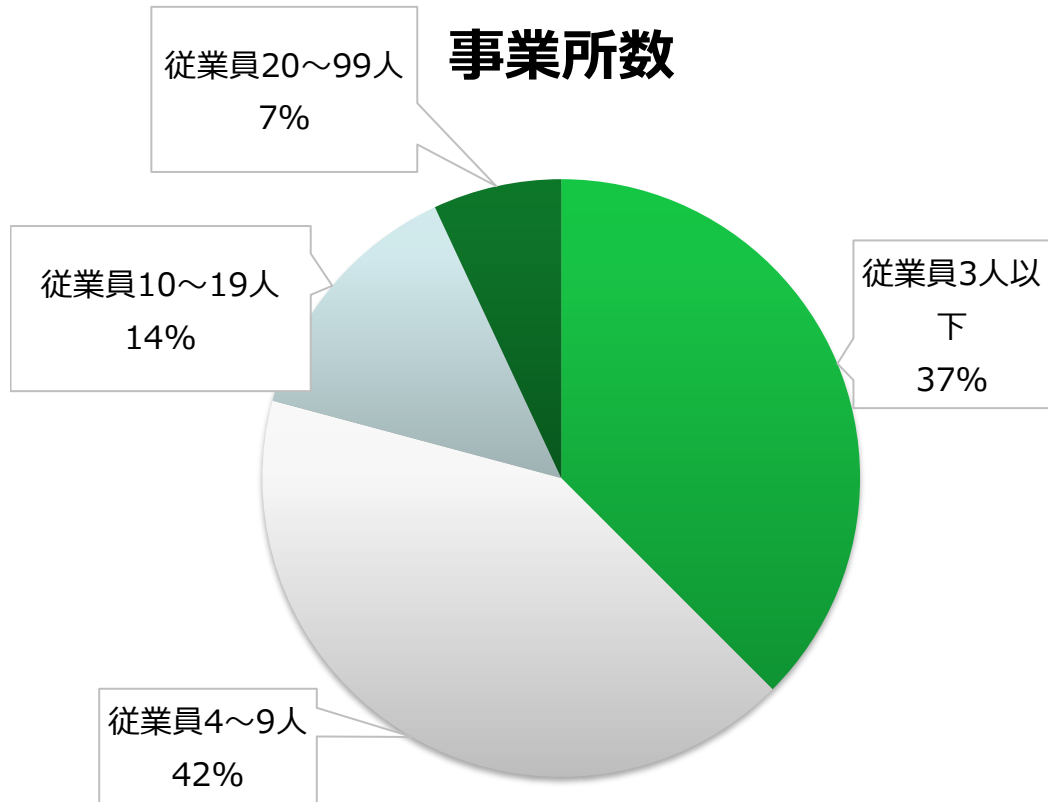
- ・主として日常生活の用に供されるもの
  - ・その製造過程の主要部分が手工業的
  - ・伝統的な技術又は技法により製造されるもの
  - ・伝統的に使用されてきた原材料が主たる原材料として用いられ、製造されるもの
  - ・一定の地域において少なくない数の者がその製造を行い、又はその製造に従事しているもの
- 以上、5つ要件を全て満たし、伝統的工芸品産業の振興に関する法律に基づく経済産業大臣の指定を受けた工芸品のことをいいます。  
100年以上の伝統がある技術や技法を用いて作られます。

- ・241品目のうち、漆器としては23品目が登録されています（2023年10月26日時点）
- ・漆器の中で、工芸士の登録は輪島塗が77名と突出して多いです
- ・伝統工芸士は産地で12年以上の経験を積み、試験に合格したスペシャリストです
- ・「伝統証紙」が貼られた製品は、指定の技術/技法/材料で作られ産地検査に合格したものです

- ・登録されているだけでも全国に23の産地があり、産地間競争は厳しい状況です。

### 3. 業界の動向

#### 事業所の規模と出荷金額の割合



※総務省統計局：『令和3年経済センサス-活動調査』より当社が加工し作成

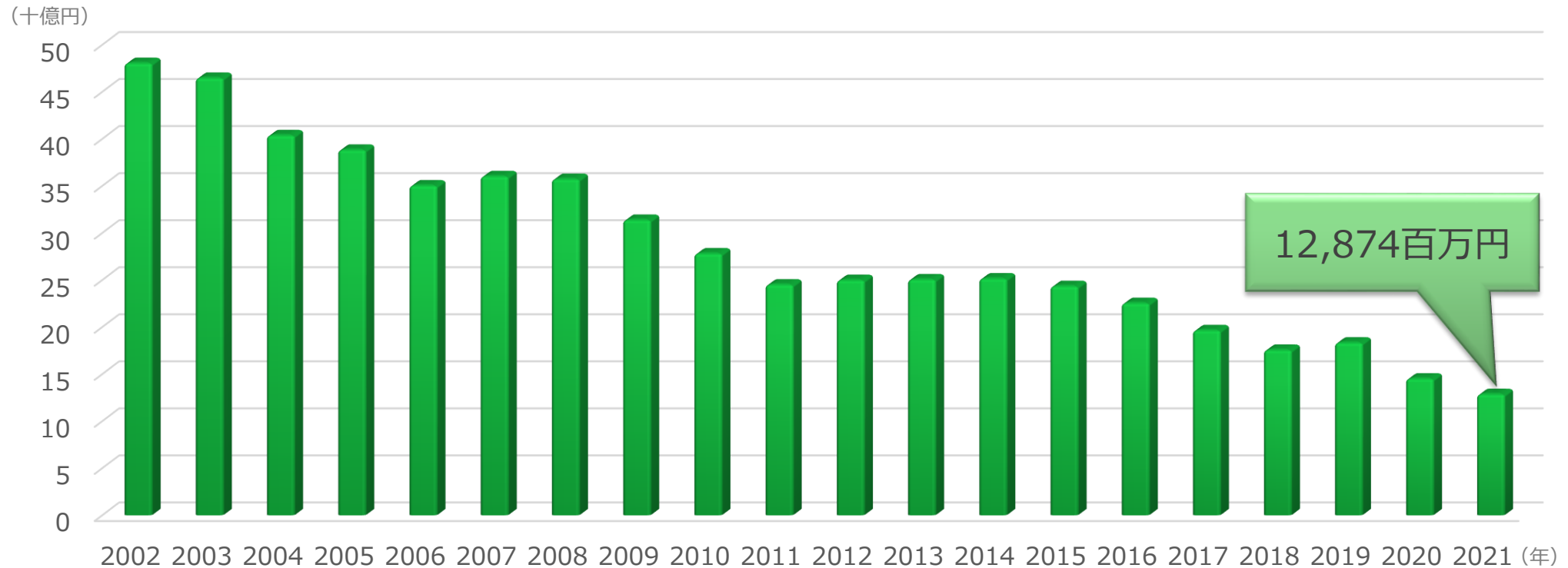
- 多工程を分業で生産する漆器製造においては小規模事業者や家族経営の割合が多く、10人未満の事業所が79パーセントを占めます。
- 対して出荷金額は10人以上の事業所が69パーセントを占めています。



### 3. 業界の動向

#### 深刻な市場縮小

#### 製造品出荷額



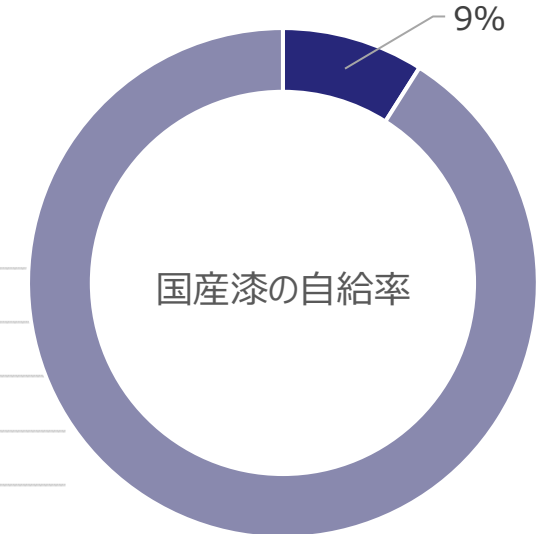
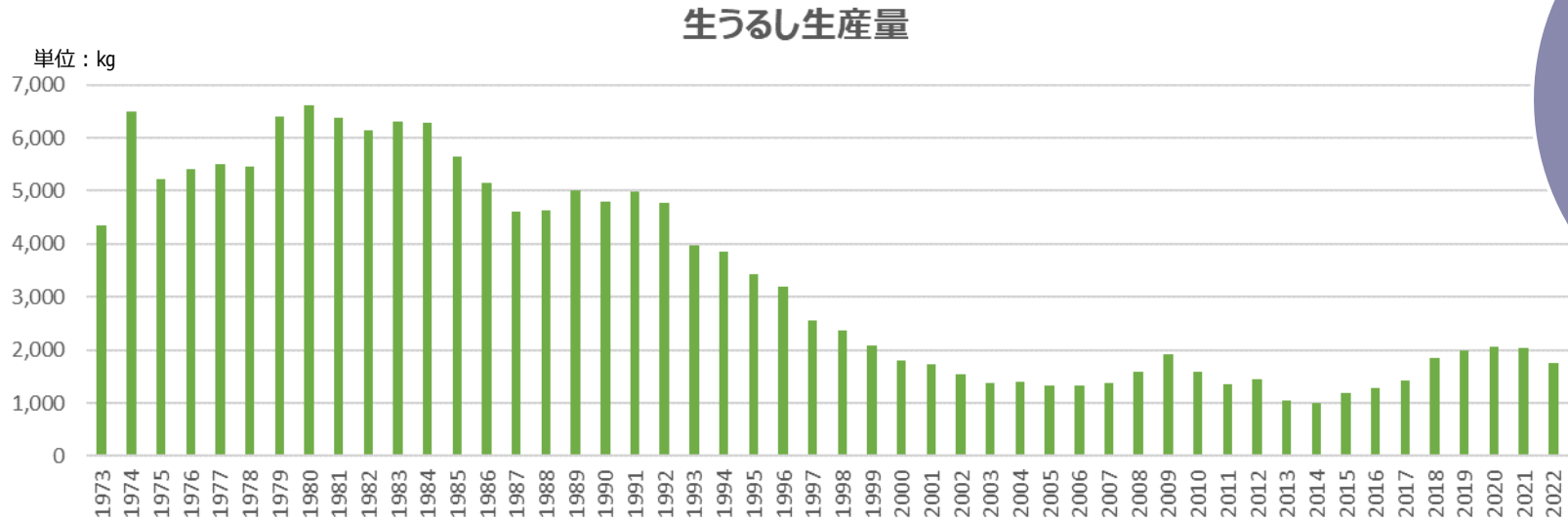
※経済産業省：各年の統計より当社が加工し作成

- 上のグラフは漆器製造業に限った数値ですが、伝統産業全体としても市場規模は縮小が続いています。
- 漆をはじめ木材や金といった原材料の価格が高騰しており、事業所数も減少傾向にあります。

### 3. 業界の動向

#### 国産漆の生産量

CC Innovation / est.2021



国宝・重要文化財建造物の  
保全修理に必要な国産漆

約2.2トン

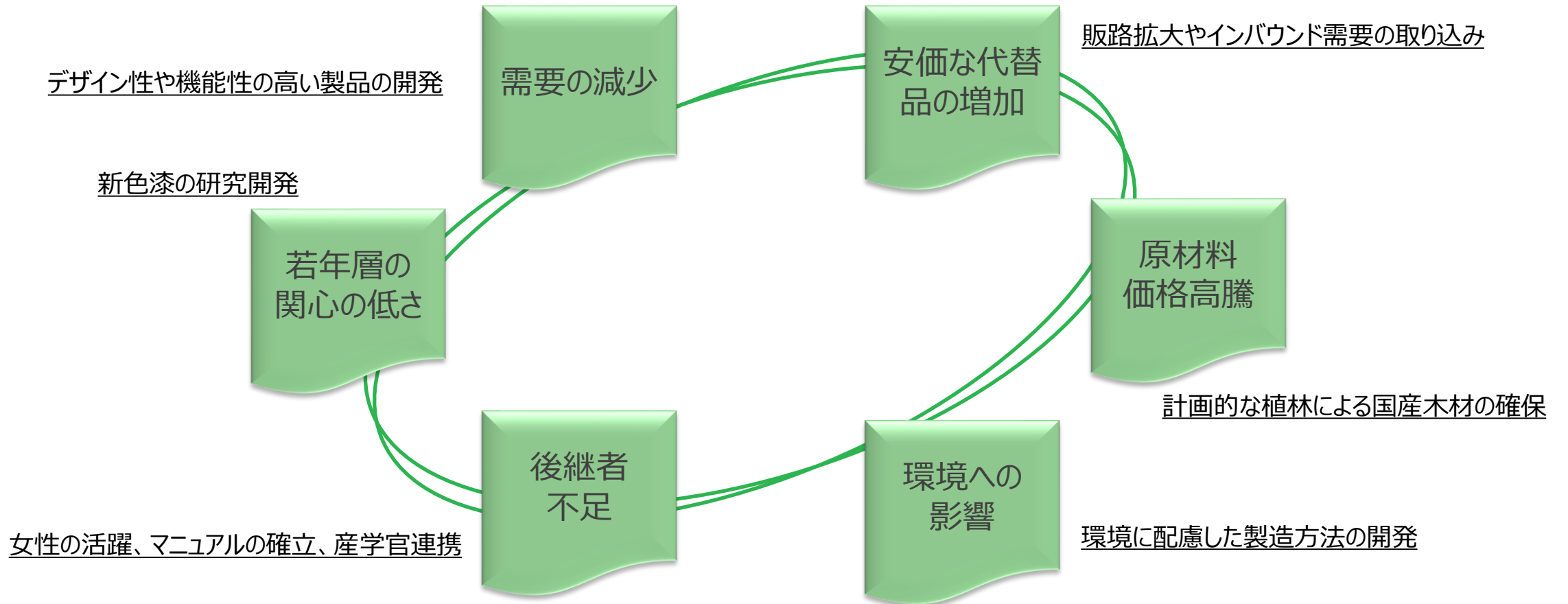
>

約  
1.8  
トン

※林野庁ホームページおよび「特用林産物生産統計調査」より当社が加工し作成

- 現在、日本で流通する漆の約91パーセントが外国産漆。国産漆はわずか9パーセントとなっています。
- 文化庁の方針で2018年度から、国宝・重要文化財建造物の保存修理には原則として国産漆を使用することになりました。しかし、保存修理には年平均約2.2トンの漆が必要といわれ、国産漆の生産拡大が望まれています。

## 漆器製造業界の課題と取り組み



- それぞれの課題が関係しており、総合的な解決を図ることが必要です。

### 3. 業界の動向

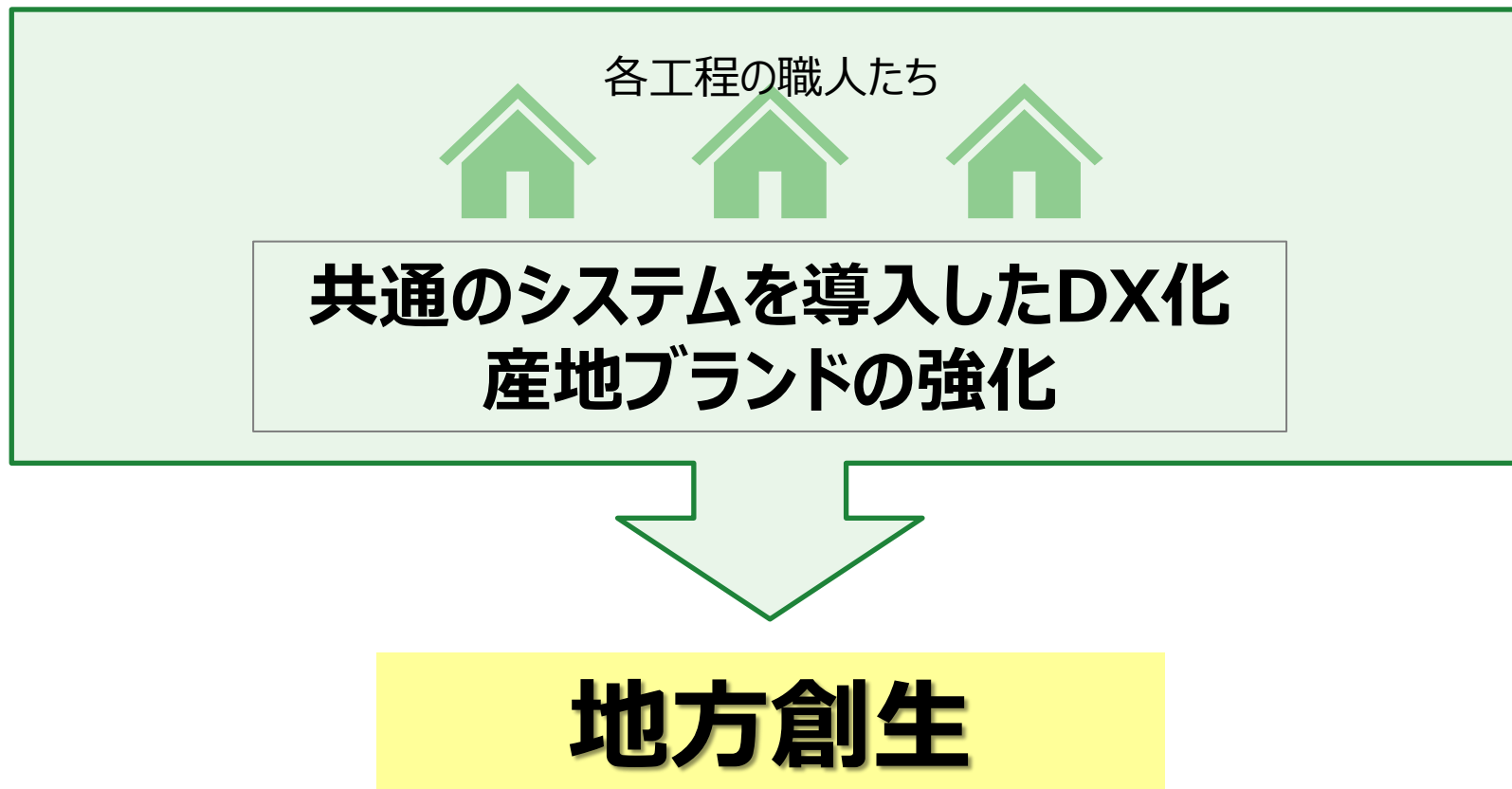
#### 先進的な新たな試み



- 従来の課題解決に向けた取り組みから、さらに一歩すすみ、DXや環境へ配慮などあらたな課題への対応が求められています。

## 4. 今後の焦点

### サプライチェーン全体での変革



- 一事業者による変革から、上流・下流事業者、地域などを巻き込んだ大きな変革に取り組む事例が増えています。
- 漆器製造業のみならず、地域の他業界とも連携した地方創生が業界存続にカギとなります。

# 4. 今後の焦点

## 参考事例① 山中漆器コンソーシアム

### 地域ぐるみで取組む山中漆器産地での「伝統工芸の挑戦」

#### 【課題】

- 職人の高齢化・後継者不足による生産力の低下
- 従来からの商慣習による受発注・請求支払・進捗確認などの手続きがアナログな運用（紙・電話・FAX・訪問）のため非効率
- 製造工程が分業制となっていて、各工程の進捗が分かりにくい

#### 【対策】

- 有志による勉強会から着手し、産地全体（地域）の課題と認識
- 地域金融機関が産地の取り纏め役となり、自治体・組合と連携
- 高齢者の多い職人の理解を得ながら、デジタル化を推進



#### 【取組概要図】



職人の高齢化・後継者不足による生産力の低下を背景に、産地をあげてDXに取り組んでいます。

### 従来からの商習慣のデジタル化により、サプライチェーンの効率化を実現!!

#### ◎ 漆器屋1社あたり月平均 約75時間削減

対象者	業務内容	削減率
漆器屋	支払い事務作業時間	30%
	発注事務作業時間	30%
	不良率	2%(3→1)
素地屋	請求事務作業	30%
	受注作業	10%
	在庫圧縮率	5%
塗師屋	請求事務作業	50%
	不良率	2%(3→1)
	請求事務作業	50%
時絵屋	請求事務作業	50%
	不良率	2%(3→1)

- #### ◎ イノベーションの始まり
- 産地の一体化意識の醸成
  - 協働・シェアリングの始まり
  - 新たなことを考える時間の確保
  - 本業注力による安定的な供給
  - 総務省事業活用による知名度向上と参加企業の士気の向上

- #### ◎ 山中漆器産地
- 販路拡大
  - ブランディング
  - 共同物流
  - 海外展開 などを検討予定
- #### ◎ 他地域
- 他地域・他産業への展開

事務処理作業が平均30%削減され、今まで積極的に取組めなかった販路拡大などの業務へのパワーをシフトする事ができるようになるなど、大きな効果がみられます。

※総務省ホームページより

## 4. 今後の焦点

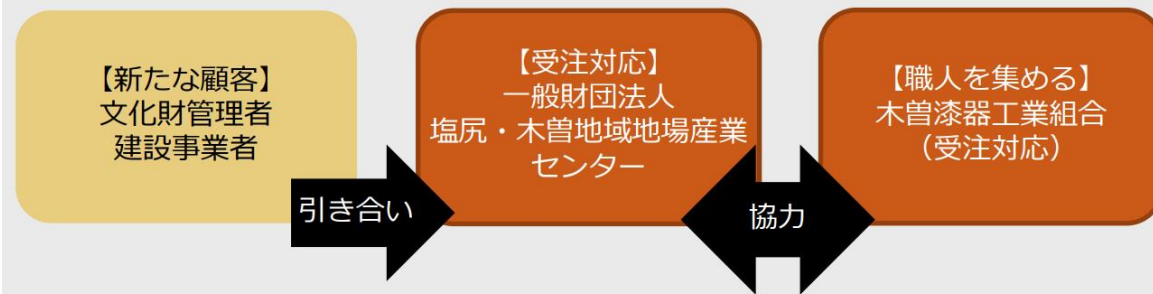
### 参考事例② 木曽漆器工業組合

- 木曽木曽漆器工業組合は、長野県の木曽地域に広がる漆器職人の組合です。他の漆器産地では城下町を背景に比較的華美な食器を中心としていることとは異なり、民芸品として産地は発展してきており、比較的大物（家具など）を得意としています。

- バブル以降の景気の低迷を受けて新たな市場開拓を狙っていたところ、木曽漆器工業協同組合では漆器の中でも大物が得意であることを活かし、一般財団法人塩尻・木曽地域地場産業振興センターと協力し、文化財の修復に展開しています。新たな市場の開拓に加えて、共同作業を通じて産地としての一体感も生まれています。

- 現在、産地では漆器と文化財修復を主な柱としつつ、海外の日本食店舗への食器の販売や職人の個別の販売など、様々な事業を展開しており、30代の若手の職人が増えてきています。

#### 新たな引き合いに対する産地の協力体制



#### 主な実績

重要文化財のお寺  
「部戸」(しとみど) 修復作業



広島 厳島神社 高舞台



松本市文化財  
深志神社 山車



※経済産業省「伝統的工芸品産業の自立化に向けたガイドブック」より抜粋

The CC Innovation, Ltd. All rights reserved.

## 5. CCIのソリューション

### コンサルティングメニュー

<p><b>経営戦略</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経営理念・ビジョン策定</li> <li>経営計画の策定</li> <li>個別施策の立案</li> </ul>	<p><b>コストマネジメント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原価管理体制の構築</li> <li>物件費削減に関する助言</li> <li>アウトソーシングの受託</li> </ul>	<p><b>人材紹介</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最適な人材マッチング</li> <li>独自のネットワーク</li> <li>人材定着サポート</li> </ul>
<p><b>ビジネスマッチング</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな販売・仕入先の紹介</li> <li>新商品・新技術開発パートナー紹介</li> <li>グループ会社コレゾの活用</li> </ul>	<p><b>人事制度・人材育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人事評価制度の策定</li> <li>賃金制度の設計</li> <li>階層別・専門別研修の実施</li> </ul>	
<p><b>ICT</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>システム導入・更改のサポート</li> <li>独自アプリによる生産性向上</li> <li>社内コミュニケーションの活性化</li> </ul>	<p><b>業務効率化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>BPR企画・立案</li> <li>クラウド会計を活用した事務効率化</li> <li>各種業務のマニュアル化</li> </ul>	
<p><b>海外展開</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海外販路の開拓</li> <li>海外拠点の設立に関する支援</li> <li>貿易手続に関する助言</li> </ul>	<p><b>M &amp; A・事業承継</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業の売却・買収のコーディネート</li> <li>企業価値算定に関する助言</li> <li>経営の承継に向けた社内体制整備</li> </ul>	



- CCIではお客さまの課題を明確にとらえ、お客さまに最適なソリューションを提供します。
- 北國フィナンシャルHD各社、各業務提携機関がお客さまの成長戦略をご支援します。



## WEBサイト



[株式会社CCイノベーション  
\(ccinnovation.co.jp\)](http://ccinnovation.co.jp)

当社のコンサルティングに  
ついての詳細はこちら

## LinkedIn



[株式会社CCイノベーション  
LinkedIn](#)

コンサルティング事例やセミナー情報を発信中  
ぜひフォローよろしくお願いいたします！

## Facebook



[株式会社CCイノベーション  
Facebook](#)

## お問い合わせフォーム



[株式会社CCイノベーション  
お問い合わせフォーム](#)

専門コンサルタントが  
ご相談を承ります。  
お気軽にご連絡ください！

- 本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、CCイノベーションとのお取引を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載されている意見などはCCイノベーションが信頼に足り、且つ正確であると判断した情報に基づき作成されたものではありませんが、その正確性、確実性を保証するものではありません。なお、本資料は、作成日において入手可能な情報等に基づいて作成したものであり、金融情勢・社会情勢等の変化により、内容が不正確なものになる可能性もあります。
- 本資料のご利用は、お客さま御自身の判断でなされるよう、また、必要な場合には顧問弁護士、税理士などの各種専門家にご相談いただきますようお願いいたします。
- 本資料の著作権はCCイノベーションに帰属し、本資料の一部または全部を、電子的または機械的な手段を問わず、無断での複製または転送等することを禁じます。